

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

工業高校としての歴史をもち、多様な進路実現をめざす総合学科の高校の定時制の課程として、多様な価値観を認めていく人権尊重の態度を養い、自己肯定感を高め自ら夢や志を抱いて人生を切り拓く力を育てる。

1 生涯にわたる幸福をめざし、「知識・技能」を習得し、「思考力・判断力・表現力」をはぐくみ、個々のニーズに応じた学びを実践する。

2 仲間づくりや人とのかかわりを通じてコミュニケーションを豊かにすることを自ら学び、人権を尊重し「ともに学び、ともに育つ」学びを実践する。

3 様々な体験的活動や外部人材の活用を通じ、自己実現を支援する。

2 中期的目標

- 1 確かな学力の定着と将来をみすえた自主性・自立性の育成
- （1）Well-being を志向する社会に適応し、生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育むため、ICT の活用を含めた「主体的・対話的で深い学び」の実践をめざす。
- （2）自主性・自立性の育成を重視したキャリア教育の充実を図り、進路選択のサポートを強化し、進路決定率を R 8 年度に 90%をめざす。
R 3：91.0%、R 4：96.2%、R 5：92.0%
- （3）「学びに向かう環境づくり」をめざし、欠席・遅刻等の改善を図る。
※全出席率を R 8 年度に 70%をめざす。 R 3：68.4%、R 4：62.2%、R 5：56.5%
(参考：遅刻・早退を含む出席率 R 5：79.6%)
- 2 豊かな心と健やかな体の育成と人権を尊重する学びの推進（生徒自らが活気ある学校生活を送る）
- （1）人権感覚を高め、人権意識を深め、互いに多様性を尊重する学びの場を提供し、自尊心と自他を思いやる豊かな人間性を育む。
- （2）体験活動等の充実化を図り、心身ともに健やかに、人生を切り拓く力を育成する。
- （3）あいさつ運動の定着化により、社会人として必要な基本的生活習慣と規範意識を身につける。
- （4）安全安心な学びの場について、ソフト面及びハード面の両面における整備・提供を図る。特に、ソフト面では SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）や SC（スクールカウンセラー）等を活用し、ヤングケアラーを含む生徒の課題の克服をめざして家庭・地域・外部機関との連携を図る。
※「課題を抱える生徒フォローアップ事業」を活用し、文部科学省が公表した令和4年度全国公立高等学校定時制課程の中途退学率 7.6%以下を維持する。
- 3 学校運営の活性化と教職員の資質・能力の向上
- （1）各分掌、各委員会、各学年における年度末の総括を踏まえ、各担当業務の改善を図る。
- （2）OJT と外部研修を組み合わせ、個々の教職員のキャリア形成に必要な資質・能力の向上を図り、リーダーの育成に取り組む。
- （3）教職員の同僚性を向上し、活気のある職場づくりをめざす。
- 4 開かれた学校づくりのための取組みを推進する
- （1）地域との連携、地元中学校および保護者等への広報に関して HP の活用を充実させる。
- （2）地域とともに歩み、親しまれる学校づくりに努める。
- （3）ものづくり体験を通じて定時制の取組を中学校や地域に対して広報する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R 5 年度値]	自己評価
1 確かな学力の定着と将来をみすえた自主性・自立性の育成	(1)「主体的・対話的で深い学び」の実践 (2)自主性・自立性の育成を重視したキャリア教育の充実 (3)「学びに向かう環境づくり」と欠席・遅刻等の改善	(1)・生徒一人ひとりの学びに寄り添い、ICT 活用や独自プリントの作成によりユニバーサルデザインの授業構築をめざし、協働して深い学びに向かう姿勢を育む。 (2)・CC、ハローワークと協力して生徒の自主性・自立性を育みつつ、キャリア意識形成を支援し、希望の進路確保の実現をめざす。 (教育産業等の外部機関を活用して有用な情報提供を行いキャリア意識形成を図ること、および、生徒のニーズに応じた科目の選択や受講指導を実施することを含む) ・ハローワーク等との連携や企業訪問により就職先の開拓を行い進路決定の向上につなげる。 (3)・生徒面談を随時行い、生徒に寄り添った丁寧な対応および進路指導を行う。 ・保護者との連携を充実させ、生徒一人ひとりの課題の早期発見・早期対応につなげる。	(1)・学校教育自己診断の「学校の授業はわかりやすく楽しい」の肯定的回答率 65%以上をめざす。[60. 8%] (2)・学校教育自己診断の進路指導に関する設問の肯定的回答率 65%以上の維持をめざす。 [66. 7%] ・応募前職場見学会や企業訪問を積極的に実施(就職希望者の 100%) ・進路決定率の水準 90%以上をめざす。 [85. 7%] (3)・学校教育自己診断の進路指導に関する保護者の肯定的回答率 75%以上の維持をめざす。 [78. 9%] ・出席率 70%以上維持をめざす。[79. 5%]	
2 豊かな人間性の育成と人権を尊重する学びの推進	(1)人権尊重の教育の推進 (2)体験活動等の充実 (3)基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成 (4)安全安心な学びの場について、ソフト面及びハード面の両面における整備・提供	(1)・人権研修を通じて身近な差別事象や人権問題について正しい理解を深め、自尊心と自己を思いやる豊かな人間性を育む。 (2)・文化祭、球技大会等の体験活動をより一層充実させ、健やかな心身を育むとともに人と協働する楽しさを学ぶ場を提供する。 ・生徒会の活動を活発化させ、生徒の自主性や創造性を育む。 ・部活動の活性化を図る。 (3)・社会人として基本的なあいさつや礼儀に関する習慣を身につける場を提供する。 ・通信機器や情報機器等の適切な使用マナーを含む情報リテラシーを身につけさせる。 (4)・「課題を抱える生徒フォローアップ事業」を活用し、SSW・SCを活用した校内体制の充実を図り、保護者の理解を得る。また、子ども家庭センターや市町村関係部局と密に連携をとり、安全・安心な学びの場づくりをめざす。 ・ヤングケアラーの状況を把握し、教職員間で情報共有を密に行うとともに、SSW の協力を得て外部機関との連携を模索する。 ・「いじめ」の対応について引き続き校内体制の充実を図る。 ・災害時の安全確保の観点から生徒の活動場所の照度点検と安全な作業のための環境整備を継続する。	(1)・学校教育自己診断の生徒の人権に関する設問で肯定的な回答率 65%をめざす。 [64. 7%] (2)・学校教育自己診断の学校行事に関する設問で肯定的な回答率 70%維持をめざす。[70. 6%] ・部活動参加のべ人数 40 名以上をめざす。 (R 5 年度のべ 42 名/在籍 60 名) (3)・校門前の「あいさつ運動」を継続し、授業の開始・終了の「起立・礼」を励行する。 ・学校教育自己診断の生徒の「決まりや校則」に関する設問で肯定的な回答率 70%以上維持をめざす。[72. 0%] (4)・学校教育自己診断の保護者の相談等に関する設問で肯定的な回答率 70%以上維持をめざす。 [73. 6%] ・学校教育自己診断の生徒のいじめに関する設問で肯定的な回答率 60%以上をめざす。 [56. 8%] ・学校薬剤師・産業医とも連携して設備の安全状況把握等に努め施設改善する。	

府立和泉総合高等学校 定時制の課程

3 学校運営の活性化と教職員の資質・能力の向上	(1)学校運営の活性化 (2)教職員の資質・能力の向上とリーダーの育成 (3)同僚性の向上と活気のある職場づくり	(1) ・年度末の総括を踏まえ、各分掌、各委員会、各学年における自由な意見交換を経て、各分担業務の改善を図る。 ・学校教育自己診断結果等を学校運営協議会等で共有し、意見を集約して学校運営に生かす。 (2) ・OJT と外部研修を組み合わせ、個々の教職員のキャリア形成に必要な資質・能力の向上を図る。 ・同僚性を向上し、互いに切磋琢磨する職場をつくる。 ・各分掌、各委員会、各学年等において適切に業務分担し、各教職員がそれぞれの得意分野を生かした充実感を持つことができる雰囲気を作ることで、活気のある職場づくりをめざす。	(1) ・学校教育自己診断の「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」の肯定的回答率 50%をめざす。 [37.6%] (2) ・キャリア形成に必要な研修等によりリーダー育成を図る。 ・ストレスチェック「同僚からのサポート」の水準について他校以上をめざす。 [48<57(他校)] ・ストレスチェックの「仕事のコントロール」における評価を他校より高く維持することをめざす。 [67>49(他校)]	
4 開かれた学校づくりのための取組みの推進	(1)地域との連携、地元中学校および保護者等への広報 (2)地域とともに歩み、親しまれる学校づくり (3)ものづくり体験を通じた広報	(1) ・秋季発表大会・産業教育フェア等へ積極的に参加し、教育活動の成果を発信し、中学校・地域等にアピールする。 ・保護者の学校活動への参加を促進する。 ・学校見学・説明会の申込を随時受け付け、生徒・保護者・中学校教員にアピールする機会を設ける。 (2) ・生徒会による学校周辺地域の清掃活動を実施する。 ・教員による学校周辺地域の清掃活動を、毎日のあいさつ運動時に行う。 (3) ・ものづくり体験を通じて定時制の取組について中学校や地域に広報する。	(1) ・生徒の学校行事や課外活動における様々な活動について HP のブログで紹介する。 [月2回程度更新] ・学校教育自己診断の「学校行事への参加」に関する保護者の肯定的回答率 40%をめざす。 [36.9%] ・学校見学・説明会の随時実施回数 8 回以上をめざす。[8回] (2) ・学校周辺の清掃等、地域との活動を充実(年5回) ・毎日のあいさつ運動時に学校周辺を清掃 (3) ・ものづくり体験を中学生等を実施する。 [年2回以上]	
5 校務の効率化と働き方改革の推進	ア 労働安全衛生管理体制の充実	ア 「府立学校における働き方改革に係る取組みについて」に基づき、業務の効率化を図ることにより、個々の教職員の活気につなげる。	ア ストレスチェックの「仕事の量的負担」における評価を他校より高く維持することをめざす。 [62>41(他校)]	